

戦後日本の自治体の経時的展開：自治体の政策指向性はなぜ、どのように異なってくるのか

著者	箕輪 允智
学位授与年月日	2013-07-11
URL	http://doi.org/10.15083/00006276

博士論文（要約）

戦後日本の自治体の経時的展開

-自治体の政策指向性はなぜ、どのように異な
ってくるのか-

箕輪允智

目次

序章 問題の所在と分析の視角

1. 問題の所在

2. 日本における地方政治分析の来歴

(1)日本における地方政治分析研究の系譜

3. 自治体における目標の設定、政策選択に関する研究

(1)権力構造分析の方法論争

(2)自治体統治連合論の形成

(3)都市ガバナンス論

4. 分析の枠組と方法

(1)分析の枠組

(2)方法

第一章 三条市

1. 三条市の諸相

(1)人口・地勢・歴史

(2)気候・交通

(3)産業

2. 三条市政の動態

(1)土田市政(1947.4～1957.1)

(2)金子市政(1957.1～1965.1)

(3)高野市政(1965.1～1969.11)

(4)渡辺市政(1969.11～1972.7)

(5)稲村市政(1972.7～1976.7)

(6)滝沢市政(1976.7～1983.4)

(7)内山市政(1983.4～1995.4)

(8)長谷川市政(1995.4～1999.4)

(9)高橋市政(1999.4～2005.1)

3. 小括

第二章 柏崎市

1. 柏崎市の諸相

(1)人口・地勢・歴史

(2)気候・交通

(3)産業

(4)電力不利地域柏崎

(5)理化学研究所の柏崎進出と産業構造の変化

2. 柏崎市政の動態

- (1)市長公選前夜(～1946.2)
- (2)三井田市政(1946.2～1951.4)
- (3)洲崎市政(1951.4～1959.4)
- (4)吉浦市政(1959.5～1963.4)
- (5)小林市政(1963.4～1979.4)
- (6)今井市政(1979.4～1987.4)
- (7)飯塚市政(1987.4～1992.11)

3. 小括

第三章 加茂市

1. 加茂市の諸相

- (1)人口・地勢・歴史
- (2)気候・交通
- (3)産業
- (3)学校を基礎とする人的ネットワーク

2. 加茂市政の動態

- (1)金田市政(1954.4～1963.4)
- (2)吉田市政(1963.4～1975.4)
- (3)皆川市政(1975.4～1987.4)
- (4)太田市政(1987.4～1995.4)
- (6)小池市政(1995.4～)

3. 小括

第四章 栃尾市

1. 栃尾市の諸相

- (1)人口・地勢・歴史
- (2)気候・交通
- (3)産業

2. 栃尾市政の動態

- (1)皆川市政(1954.4～1961.5)
- (2)千野市政(1961.5～1966.11)
- (3)山井市政(1966.12～1970.11)
- (4)渡辺市政(1970.11～1986.11)
- (5)杵淵市政(1986.11～2002.11)

3. 小括

終章

- 1. 比較分析
- 2. 結論

(1) 政策指向性の分岐をもたらす要因と相互作用

(2) 研究の意義、含意

(3) 課題

【参考文献一覧】

本論文は自治体の政策指向性はなぜどのように異なってくるのか、を問いとして、新潟県中越地方の近接した 4 市の比較分析を行うことでその姿を明らかにしようとするものである。

まず、序章においては問題の所在と分析の枠組みを提示した。ここでは日本の地方政治に関する先行研究からは革新首長の出現、オール与党体制、相乗り首長、無党派首長の登場の状況規定要因の説明や党派性による政策相異の検証等であり、その根本的要因の探求志向が弱い傾向を把握した。さらに、日本の地方自治に関する先行研究は、地方制度や自治制度の形成など、「自治体を管理すること」が研究及び制度設計者側からの需要として存在したことから、自治体を総体のもので捉える傾向があるということ把握した。一方で近年は「自治体個性論」とも言うべき、自治体の個性性に着目し、その個性性、地域性の相違から自治体個体の政策形成の傾向の違いを示唆する研究が増え始めてきており、これら研究もこの研究の系譜に位置づけられるものとなる。

なお、自治体の歴史的展開による政策指向性形成の差異に関しては都市ガバナンス論の分析枠組みを発展させた「自治体ガバナンス」の分析枠組みを提示した。この枠組みでは、自治体の政策指向性形成を「自治体の諸相」と「自治体ガバナンス」の相互関係によって形成される動的なものとして捉えたものとなっている。自治体の諸相の側面としては、地理的、産業、市民社会、一方で自治体ガバナンスの側面においては「統治構造とその論理」、「政策指向性」が相互に影響して形成されるものとして捉えている。統治構造とその論理に関しては、協調、多元競争、恩顧主義、非決定形成の 4 類型を提示し、自治体ガバナンスに関しては社会経済の発展に合わせた標準的地域整備を目指す「メンテナンス」指向、地域開発等を行い、さらなる経済的な発展を達成しようとする「発展・開発」指向、自治体における経営の安定性を求める「経営管理」指向、福祉諸施策の充実を目指す「福祉」指向を提示した。本論文においては新潟県中越地方の 4 つの市の長期的な市政運営の過程を観察することを通して政策指向性の有様と分岐を描いたものである。

そこで本論文は第 1 章から第 4 章まで、分析枠組みに基づき、新潟県中越地方の 4 つの市の長期的な市政運営の過程を観察することを通して政策指向性とその変化の経時的展開を厚い記述を目指した定性的実証研究によって描いている。

第 1 章で取り上げたのは三条市である。三条市の自治体の諸相としては、地理的要素等から空間が開放的であり、産業の側面では金物・機械を中心とした中小零細の製造業が多くを占めている。それらの産業は戦後からバブル崩壊の時期頃まで、一定の競争力を持っていたことから建設業への依存性を低く保つことができていた。このことから、三条市においては特定の企業・産業の意向に大きく影響を受けるということが少なく、市民生活を建設業などの特定産業に大きく依存する必要の無い地域となった。一方で自治体ガバナンスの側面においては、経済活動が特定の企業・業界に大きく依存することが不要かつ、中小零細企業が多いとはいえども、一企業の主である事業主を多く抱えたことから独立心が高く、多面的な地方政治空間が形成されていた。その中で市議会議長・副議長の任期があまり長くない

場合が多く、市議会における激しい政争繰り返されるなど、各種のアクター間の協調関係を形成することがあまりなされなかった。そのような中で、「メンテナンス」指向の政策指向性が長期間続けられることとなる。一次的には1980年代～1990年代初頭にかけて、協調体制が生まれ、五大事業と称する市内を横断するJR線（JR弥彦線）の高架化や南北縦断道路の建設などが推進され、一見開発志向に至ったかのように見える時期もあったが、それらの事業は市民の生活様式や経済構造を一転するものが意図されていたものではなく、確かに事業費としては高額のものとなったが、交通網の発展・自動車の普及などの社会経済環境の時代の変化に伴った既存構造の維持と考え得るものであり、「発展・開発」指向に至るものではなかった。その後三条市においては、協調体制時代の五代事業等に起因する財政的負担を残したまま、多元競争の体制に戻ることとなり、その中で全国的な流行でもあった行政の簡素化を目指し、財政状況の悪化を阻止しようとする「経営管理」指向に同調していくこととなり、「経営管理」指向が形成されることとなる。

第2章で取り上げたのは柏崎市である。柏崎市は地理的要素、交通網の形成状況などから空間的にはやや閉鎖的で、産業の面では、下請け等も含め、多くの住民が関与する大規模事業者が存在し、さらには戦後の市政運営の中で建設業への依存性を徐々に高めていった「自治体の諸相」を持つ地域である。「自治体ガバナンス」の面においては、戦後の市政の統治構造として、完全ではないものの協調的な構造が形成されていた。加えて柏崎においては、戦前に石油業による各種開発によって経済的に繁栄したという過去の栄光に起因する郷愁を有し、戦後においては、高度経済成長に取り残された地域となり、近隣市と比較して、経済的発展という観点から後れを取り、またそれらが住民の意識の中でも共有されたものとなった。そのような中で小林治助市長を中心とする市政関係者は、日本の原子力政策に精通する人物を役員に持つ、市内最大企業による助言も受け、原子力発電所の建設を通した「発展・開発」指向の道を形成していくこととなる。

第3章で取り上げたのは加茂市である。加茂市は地理的要素、気候、交通網の状況から空間的にはやや開放的な地域であり、産業の面では木工・機械・金属関連産業などを中心に複合的な産業構造を有していた。また、市内には比較的大規模な工場が複数存在するなど、産業の凝集性がやや低い状態が維持されている中で、それらにおいて組合活動も活発になされていた。このような「自治体の諸相」の中で、市民はある程度高い可処分所得を有し、そこそこの市民生活が可能となっていた。このようなことから建設業等への依存もあまり高くならず、さらなる経済的発展を求めようとする市民の意識もあまり形成されない中で、統治構造としては産業界のリーダーだけでなく、労働者層のリーダーも含めた協調的な体制が形成され、長期間「メンテナンス」指向が継続した。

しかしながら、この協調体制と長期間継続した「メンテナンス」指向は、1995年に市長に就任した元防衛官僚の小池清彦の登場によって「福祉」指向へと変化する。小池市長が就任した当時、ちょうど長期間の協調体制・「メンテナンス」指向を形成していたリーダー層は高齢化に伴い、市政の表舞台から姿を消しつつある状態であり、バブル崩壊の影響を受け、

また市内の経済状況としても悪化傾向が生じていた。また、協調体制を支えていた「かつての」青年労働者層も、その多くが年齢を重ね、そのコーホートが高齢世代に突入していた。そのよう状況下において、小池市長は福祉を中心とするサービス提供や市長への直接請願の場の設置と、その場での直接的な対応、利益提供策の実施等を通して恩顧主義的な構造を形成していったのである。

第4章で取り上げたのは栃尾市である。栃尾市は地理的に山に囲まれていたことから空間的に閉鎖的な土地柄であり、戦後しばらくの間、地域の主要産業である繊維産業による経済的繁栄の時代があり、繊維産業の凝集性が高く、政治的影響力としても大きな力を有していた。このような状況下で、市内織物産業のリーダーを中心とするアクターによって恩顧主義の統治構造が形成されていた。

主要産業である繊維産業は、いわゆる途上国型の産業であり、低賃金・長時間労働によって維持・発展がなされていく典型的な産業である。そのため、高度経済成長を達成し、日本が先進国となり、賃金水準が高くなっていく中で国際的な競争力を失っていく。栃尾市の繊維業界もそれに漏れず、1960年代の半ば以降、構造的な不況に突入していく。このような中で織物業界に大きく影響を受ける市政運営は、既存産業の織物業界に不利益になることを避け、また補助金や融資獲得の面などで業界側と協力していくことになる。衰退産業を抱えた中で、労働力の吸収と共に一定の市民生活の維持を補完するものとして推進されていたのが地域内での公共事業の獲得・実施である。そのため、栃尾ではダム建設、トンネル・道路の建設や各種公共施設の建設などが既存の繊維産業の維持・保護と同時並行となる形で推進されていくことになる。栃尾市においては多数の公共事業の推進・実施など、一見「開発」的な指向に思われるものの、その本意は、それらの事業を通じた地域経済の発展と捉えることは適切ではない。むしろ地域における「余所並み」の市民生活の形成と維持にあると言えよう、そのため、確かに開発事業は行っているが、実質的な政策指向としては「メンテナンス」指向が長期間継続したものと言える。しかしながら、標準的な生活水準を目指した「メンテナンス」指向に基づく道路・トンネル等の事業実施は、栃尾の道路交通状況が便利させると同時に空間的な閉鎖性を開放的な状態に変化させていくことになる。1988年に開通した新榎トンネルは隣の長岡市への車での所要時間を大幅に短くなり、栃尾市は長岡市街地への毎日の通勤可能圏内となり、生活圏が広がることになった。これによって「栃尾市である」ことの意義は徐々に消滅し、2006年に長岡市に編入合併を行い、栃尾市の消滅に繋がるのである。

終章では、上記の4市の比較分析を行うとともに、結論として政策指向性の分岐をもたらす要因を次のように推論している。それは、交通網の変化等が生じた場合で既存の統治構造が危機感を持ち、それが政策指向性に影響を与える（①空間的状況の変化）、地域における産業資源の有無とそれを活用しようとする主体から強い影響力が生じる（②地域の産業資源）、地場産業がどの程度、どの時期まで好況であり、どのような衰退の仕方をしたか、また、業界団体の凝集性がどのようになっていたかの状態が影響する（③地場産業の体質）、

公共事業にその数値の影響を受けやすい建設業従業者数が急速に増大したような場合は公共事業への依存体質、かなり強い郷愁が発生しフィードバック効果が発生する一方、漸進的な伸びの地域では効果が無い（④公共事業と建設業従業者増大のフィードバックの効き方）、市内の人口構造において、循環が無く、一定層の人口が厚いまま、それが高齢者やそれに近い層に突入すると福祉サービス受給等をより多く求めようとする指向での恩顧主義的構造などこれまで長期間既存構造が変化しなかった状態でも変化にきっかけ、あるいは受容するものになってしまう（⑤人口属性の変化）、ということである。

【参考文献一覧】

1. 英文論文、図書

- Ataov, A. and A. Eraydin. (2010). Different Forms of Governance: Responses of Two Metropolitan Regions in Turkey to State Restructuring. *Urban Affairs Review*, 47: pp.84-128.
- Bachrach, P. and Baratz, M.S. (1970). *Power and Poverty: Theory and Practice*. Oxford Univ Pr
- Bailey, R. W. (1999) *Gay politics, urban politics: Identity and economics in the urban setting*. New York: Columbia University Press.
- Bassett, K. (1996). Partnerships, business elites and urban politics: New forms of governance in an English city? *Urban Studies* 33: pp.539-555.
- Bauroth, E. (2011) The Reluctant Rise of an Urban Regime: The Exercise of Power in Fargo, North Dakota, *Journal of Urban History* . 37: pp. 519-540
- Bevir, M. (2009). *Key Concepts in Governance*. SAGE
- Bish, R.L. (1971) *A political economy of metropolitan areas*. Markham, Chicago
- Brady, H. E. and D. Collier. eds. (2004), *Rethinking Social Inquiry: Diverse Tools, Shared Standards*, Rowman & Littlefield Pub Inc. (= 泉川 泰博・宮下明聡訳(2008)『社会科学の方法論争—多様な分析道具と共通の基準』勁草書房)
- Burke, E. (1790) *Reflections on the French Revolution*. (= 中野好之訳(2000)「フランス革命についての省察<上><下>」岩波書店)
- Cartwright, D. (1968). The nature of group cohesiveness. In D. Cartwright and A. Zander (eds.), *Group dynamics: Research and theory* (3rd ed.) New York: Harper & Row.
- Clark, S.E. (1998) Institutional Logics and Local Economic Development: A Comparative Analysis of Eight American Cities, *International Journal of Urban and Regional Research*, 19 (4): pp. 513 – 533
- Clarke, S. E. (1999) *Regional and transnational regimes: Multi-level governance processes in North America*. Paper presented at the annual meeting of the American Political Science Association, September, Atlanta, GA
- Dahl, R. (1963) *Who Governs?: Democracy and Power in an American City*, Yale University Press (= 河村望・高橋和宏(監訳)(1988)『統治するのはだれか』行人社)
- Davies, J. S. (2003). PARTNERSHIPS VERSUS REGIMES : WHY REGIME THEORY CANNOT EXPLAIN URBAN COALITIONS IN THE UK , University of Warwick. *Journal of Urban Affairs*, 25: pp.253-269.
- Davies, J.S and D.L. Imbroscio (2010) *Critical Urban Studies*. SUNY press.
- Denters, B., and L. Rose (eds.) (2005). *Comparing local governance, trends and developments*. Houndmills, UK: Palgrave.
- DiGaetano, A. (1997). Urban Governing Alignments and Realignments in Comparative Perspective: Developmental Politics in Boston, Massachusetts, and Bristol, England, 1980-1996, *Urban Affairs Review* 32: pp.844-870
- Digaetano, A. and P. Lawless. (1999). Urban Governance and Industrial Decline: Governing Structures and Policy Agendas in Birmingham and Sheffield, England, and Detroit, Michigan, 1980-1997. *Urban Affairs*

- Review*, 34: pp.546-577.
- DiGaetano, A. and E. Strom. (2003). Comparative Urban Governance: An Integrated Approach. *Urban Affairs Review*. 38:pp.356-395.
- Doornbos, M. (2001). 'Good Governance': The Rise and Decline of a Policy Metaphor? *The Journal of Development Studies*, 37(6): pp.93-108.
- Dowding, K., P. Dunleavy, D. King, H. Margetts, and Y. Rydin.(1999). Regime politics in London local government. *Urban Affairs Review*. 34:pp.515-45.
- Eisenstadt, S. N. and Roniger, L. (1984)*Patron, Client and Friends: Interpersonal Relations and the Structure of Trust in Society*. Cambridge University Press.
- Elkin, S.L.(1987) *City and Regime in the American republic*. University of Chicago Press, Chicago,
- Fainstein, N. I., and S. S. Fainstein.(1983) Regime strategies, communal resistance, and economic forces. S. S. Fainstein and N. I. Fainstein(eds.) *Restructuring the city*, pp. 245-282.New York: Longman.
- Goetz, E. G. (1994). Expanding Possibilities in Local Development Policy: An Examination of U.S. Cities. *Political Research Quarterly*, 47(1):pp. 85-109.
- Gissendanner S.(2004) Mayors, Governance Coalitions, and Strategic Capacity Drawing Lessons from Germany for Theories of Urban Governance, *Urban Affairs Review* 40: pp.44-77
- Gunnell, J.G.(2004) *Imagining the American polity : political science and the discourse of democracy*. Pennsylvania State University Press.
- Harding, A.(1994) Urban regimes and growth machines: toward a cross-national research agenda. *Urban Affairs Quarterly*, 29: pp.356-382,
- Harding, A. (1996). Is There a "New Community Power"and Why Should We Need One?". *International Journal of Urban and Regional*, 20(4): pp.637-655.
- Harding.(1997) Urban regimes in a Europe of the cities? *European Urban and Regional Studies* 4:pp.291-314.
- Harding, A. (1999). Review Article : North American Urban Political Economy , Urban Theory and British. *British Journal of Political Science*, 29:pp. 673-698.
- Hood, C. (1991). A Public Management for All Seasons? *Public Administration*, 69(1): pp.3-19.
- Hunter,F. (1953)*Community Power Structure: A Study of Decision Makers*, The University of North Carolina Press.(= 鈴木広(監訳)(1998)『コミュニティの権力構造』恒星社厚生閣.)
- Janis, I. (1982). *Groupthink: Psychological studies of policy decisions and fiascoes*. Boston, MA: Houghton Mifflin.
- Johnson, C.(1986)'Tanaka Kakuei, Structural Corruption, and the Advent of Machine Politics in Japan', *Journal of Japanese Studies*, 12: pp.1-28
- Jonas E. G. A. and Wilson D(1999). The City as a Growth Machine: Critical Reflections Two Decades Later. Andrew E. G. Jonas and David Wilson(eds.) *The Urban Growth Machine Critical Perspectives, Two Decades Later* :pp.3-12, State Univ of New York Press
- Kage,R,(2010) *Civic Engagement in Postwar Japan: The Revival of a Defeated Society* . Cambridge University Press
- King, G. Keohane,R. Verba,S . (1994) *Designing Social Inquiry: Scientific Inference in Qualitative Research*, Princeton University Press.(=真淵勝監訳(2004)『社会科学のリサーチ・デザイン—定性的研究における科学的推論』勁草書房)

- Kjær, A. M. (2004) *Governance*, Polity Press
- Kooiman, J. (2003) *Governing as Governance*. London: Sage.
- Lauria, M. (1997) .Regulating urban regimes: Reconstruction or impasse? In *Reconstructing urban regime theory*. Lauria, M (eds.) *Regulating urban politics in a global economy*: pp.233-241. Thousand Oaks, CA: Sage.,
- Leach, R., and J. Percy-Smith.(2000). *Local governance in Britain*. Basingstoke, UK: Palgrave.
- Leo, C. (1998) Regional growth management regime: The case of Portland, Oregon. *Journal of Urban Affairs*. 20: pp.363-394
- Logan, J. and H. Molotch. (1984) Tensions in the growth machines. *Journals of Urban Affairs* 15: pp.29-53.,
- Logan, J. and Molotch, H. (1987) *Urban Fortunes: The Political Economy of Place*. Berkeley, CA: University of California Press.
- Lukes, S. (1974) *Power: A Radical View*. Macmillan (= 中島吉弘訳(1995) 『現代権力論批判』、未来社)
- Molotch, H. (1976) The city as growth machine. *American Journal of Sociology* 82(2): pp.309-355.
- Mossberger, K. Urban Regime Analysis. J.S. Davis and D. L. Imbroscio(eds.).(2008) *Theories of Urban Politics*(2nd Ed):pp. 40-54. Sage Publications Ltd.
- Mossberger, K., and Stoker, G.(2001) THE EVOLUTION OF URBAN REGIME THEORY The Challenge of Conceptualization. *Urban Affairs Review*, 36: pp. 810-835.
- OECD(2005) *Modernising government : the way forward*, OECD Publishing(=平井文三訳(2006) 「世界の行政改革」 明石書店)
- Orr, M., and G. Stoker. (1994). Urban regimes and leadership in Detroit. *Urban Affairs Quarterly*. 30: pp.48-73.
- Ostrom, V. C.M. Tiebout and R. Warren.(1961) The organization of government in metropolitan areas- a theoretical enquiry. *American Political Science Review* 55: pp.831-842,
- Peters., B. G. and J. Pierre.(2004) Multi-Level Governance and Democracy : A Faustian Bargain?, Bache, I. and Flinders, M(eds.) *Multi-level Governance*: pp.77-82, Oxford University press
- Peterson, P. E.(1981) *City Limits*. The University of Chicago Press.
- Pierre, J. (1999). Models of urban governance: The institutional dimension of urban politics. *Urban Affairs Review*. 34: pp.372-96.
- Pierre, J. and B. Guy Peters.(2000) *Governance , Politics and the State*. Palgrave Macmillan.
- Pierre, J. and Peters, B.G.(2005) *Governing Complex societies*, Palgrave Macmillan
- Pierre, J. (2005) Comparative Urban Governance; Uncovering Complex Causalities. *Urban Affairs Review* 40: pp.446-462
- Pierre, J.(2011) *The Politics of Urban Governance*. Palgrave Macmillan.
- Pierson, P.(2004) *Politics in Time : History, Institutions, and Social Analysis* . Princeton University Press
- Polsby, N. W.(1961) *Community Power and Political Theory*. Yale University Press(=秋元律郎訳(1988) 『コミュニティの権力と政治』 早稲田大学出版部)
- Purcell, M.. Ruling (1997) Los Angeles: Neighborhood movements, urban regimes, and the production of space in Southern California. *Urban Geography* 18: pp.684-704.
- Rast, J. (2006). Governing the Regimeless City: The Frank Zeidler Administration in Milwaukee, 1948-1960. *Urban Affairs Review*, 42: pp.81-112.

- Rhodes, R. A. W. (1996). The New Governance: Governing without Government. *Political studies*, 44: pp.652-667.
- Rhodes, R. A. W. (1999). Foreword: Governance and networks: Stoker, G (Ed.), *The new management of British local governance* : p. xii–xxvi. Basingstoke: Macmillan.
- Rhodes, R. W.(1997) *Understanding Governance: Policy Networks, Governance, Reflexivity and Accountability*, Open University Press,
- Rokkan, S. (1973) Cities, states, nations: a dimensional for the study of contrasts in development. :S.N. Eisenstad & S Rokkan (eds) *Building states and nations*. Volume 1.Beverly Hills: Sage.
- Schlesinger, J.(1997) *Shadow Shoguns: The Rise and Fall of Japan's Postwar Political Machine*, Stanford University Pres
- Schmitter, P. C. (1977) Modes of interest intermediation and models of societal change in Western Europe. *Comparative Political Studies* 10 (1): pp.7-38.
- SHOPP MISSION(1949). Report on JAPANESE TAXATION
- Shattschneider, E.E.(1960) *The Semi –Sovereign People* New York: Holt, Rinehart and Wilson,(=内山秀夫訳 (1972) 『半主権人民』、而立書房)
- Sites, W. (1997). The Limits of Urban Regime Theory: New York City under Koch, Dinkins, and Giuliani. *Urban Affairs Review*, 32: pp.536–557.
- Speech on Reform Bill of 1867, Edinburgh, Scotland (1867-10-29); Kebbel, T. E(1882) (eds) *Selected Speeches of the Late Right Honourable the Earl of Beaconsfield*, , vol. 2, part 4, pp. 487.
- Stone, C. and Sanders, H. T. (eds.) (1987). *THE POLITICS OF URBAN DEVELOPMENT*, University Press of Kansas.
- Stone,C.(1989) *Regime Politics; Governing Atlanta, 1946-1988*. University of Kansas, Kansas
- Stone, C. N. (1993). URBAN REGIMES AND THE CAPACITY TO GOVERN: A Political Economy Approach. *Journal of Urban Affairs*, 15(1): pp.1–28.
- Stone, C. (2005). Looking Back to Look Forward: Reflections on Urban Regime Analysis. *Urban Affairs Review*, 40: pp.309–341. .
- Stoker, G. (2004). *Transforming local governance*. Basingstoke, UK: Macmillan Palgrave.
- Thelen, K. (1999). Historical Institutionalism in Comparative Politics. *Annual Review of Political Science*, 2(1):pp. 369-404.
- Thelen,K.(2004) *How Institutions Evolve: the Political Economy of Skills in Germany, Britian, the United States and Japan* . Cambridge Universiry Press
- Tiebout,C.M. (1956)A pure theory of local expenditures. *Journal of Political Economy* 64: pp.416-424,
- Turner, R. S. (1995) Concern for gender in central-city development policy. J. A. Garber (ed.) *Gender and urban research*: pp.271-289. Thousand Oaks, CA: Sage.
- Turner, R.T.(1992) Growth Politics and Downtown Development The Economic Imperative in Sunbelt Cities. *Urban Affairs Review* 28: pp. 3-21.
- Ward, K. (1996). Rereading urban regime theory: a sympathetic critique. *Geoforum*, 27:427-438.
- Ward, K. (1997). Coalitions in urban regeneration: a regime approach. *Environment and Planning* 29: pp.1493-1506.

Whelan, R. K., A. H. Young, and M. Lauria. Urban regimes and racial politics in New Orleans. *Journal of Urban Affairs* 16:pp.1-21. 1994

2.和文論文、図書

相田一男(1998)『さすらいの軌跡』

相田一男・村上寛治(2008)「国鉄新潟闘争を語る」上、下、斉藤一郎『斉藤一郎著作集第九巻』pp.263-296
『斉藤一郎著作集第十巻』pp.239-274、あかねブックス

赤木須留喜(1978)『行政責任の研究』東京大学出版会

秋月謙吾(1989)「政策における地方議員と自治体職員」『都市問題』第 80 巻 第 9 号、pp.3-15、東京市政調査会

秋元律郎(1971)『現代都市の権力構造』青木書店

朝日新聞新潟支局(1982)『深層の構図』、山手書房

阿部四郎(1983)「政党、選挙と地方政治」『都市問題』第 74 巻 第 4 号、pp.16-29、東京市政調査会

阿部斉(1979)「国と地方自治体の関係」地方自治研究資料センター編『地方自治の日本的風土』pp.89-107、
第一法規

穴沢吉太郎編(1961)『守門村史』

池田庄治(1984)『新潟県の伝統産業・地場産業(下巻)』、第一法規

石川忠延(1979)「終戦直後の東芝労連闘争記」『労働運動史研究』第 62 号、労働旬報社

石川文三(1999)『日本石油誕生と殖産協会の系譜』石油文化社

石川真澄(1983)「「土建国家」ニッポン-政権再生産システムの安定と動揺-」『世界』第 453 号、p50-61、岩波書店

石川真澄(1997)『この国の政治』、労働旬報社

磯崎初仁(2004)「都市政府研究の視点と方法」武智秀之編『都市政府とガバナンス』、pp.309-327、中央大学出版部

磯崎初仁、金井利之、伊藤正次(2007)『ホーンブック地方自治』北樹出版

伊藤武夫(1984)「第一次世界大戦期の株式市場と地方投資家-新潟県の場合(その2)-」『立命館大学産業社会論集』第 39 号、pp.19-48

伊藤修一郎(2002)『自治体政策過程の動態-イノベーションと波及』慶応大学出版会、

伊藤修一郎(2006)『自治体発の政策革新 景観条例から景観法へ』木鐸社

伊藤正次(2006)「「新しい制度史」と日本の政治行政研究」『法学会雑誌』第 47 巻 1 号、p1-20、

伊藤光利(1991)「地方議会と圧力団体--A 市の事例」第 82 巻 第 2 号 pp.15-28、東京市政調査会

市川虎彦(2011)『保守優位県の都市政治 -愛媛県主要都市の市政と市長選-』晃洋書房

市川喜崇(1997)「『新中央集権主義』の再検討」福島大学行政社会学会『行政社会論集』第 9 巻第 3・4 号、pp.32-60

市来鐵郎(1937)「地方行政における総合化の動向」『自治研究』第 13 巻 1 号、pp.95-108

井出嘉憲(1963)「地域開発政策の決定過程」『年報政治学(1963)』pp.157-178、岩波書店

井出嘉憲(1972)『地方自治の政治学』東京大学出版会

井上義比古(1992)「国会議員と地方議員の相互依存力学-代議士系列の実証研究-」『レヴァイアサン』10 号、

pp.133-155

稲田正三「年頭所感 未曾有の難局打開に操短と五カ年の新構造改善で対処」『栃尾タイムス』1974(昭和49)年1月5日

稲葉秀三、生田豊朗(1970)『日米繊維交渉』金融財政事情研究会

今井哲夫(1984)「追慕」洲崎義郎回想録刊行会『洲崎義郎回顧録 進歩と平和への希求』pp.144-146

岩崎正洋編著(2011)『ガバナンス論の現在』、勁草書房

岩井奉信(1991)「地方選挙と利益集団」第82巻第2号pp.29-42、東京市政調査会

内田満(1991)「地方政治における利益団体」第82巻第2号pp.3-13、東京市政調査会

宇野重規(2012)『なぜガバナンス問題なのか』東京大学社会科学研究所全所のプロジェクト研究 Discussion Paper Series, No22、東京大学社会科学研究所

衛藤幹子(1998)「自治体福祉と市民参加」『季刊・社会保障研究』第33巻4号、pp.403-413、国立社会保障・人口問題研究所

大河内一男(1953)『労働組合論』慶友社

大河内一男(1955)『戦後日本の労働運動』岩波書店

大河内一男(1963)「社会政策・総論」有斐閣

大河内一男(1963)『労働組合』有斐閣

大河内記念会編(1954)『大河内正敏、人とその事業』日刊工業新聞社

大河内正敏(1938)『資本主義工業と科学主義工業』科学主義工業社

大河内正敏(1938)『農村の機械工業』科学主義工業社

大河内正敏(1938)『農村の工業と副業』科学主義工業社

太田大三郎(1996)『加茂川の流れ』

大阪商工会議所編(1941)『統制経済遵法座談会並講演会速記録』

大谷健編著(1991)『激動の昭和電力私史』電力新報社

大谷博愛(1983)「都市政治における利益集団の機能」『都市問題』第74巻第4号、pp.30-47、東京市政調査会

大橋松之(2006)『地域政治文化論序説-滋賀県の政治風土研究-』サンライズ出版

大原光憲(1963)「地域住民の対応過程」『年報政治学(1963)』pp.179-188、岩波書店

大原光憲(1964)「工業化と地方政治」『法学新報』第71巻6号、pp.63-123、法學新報社

大村清一(1937)「自治行政の回顧と展望」『自治研究』第13巻1号pp.21-28

大森彌(1986)「革新」と選挙連合-ローカル・オポジションの軌跡」大森彌・佐藤誠三郎編『日本の地方政府』pp.209-242、東京大学出版会

大野晃(2008)『限界集落と地域再生』京都新聞企画事業

岡崎長一郎(1963)「地方政治と労働組合」『都市問題研究』第15巻7号、pp.73-87、都市問題研究会

岡田千尋(1984)「戦時統制下の中小企業」『彦根論叢』第228・229号、pp.335-349

小竹即一編(1980)『電力百年史』政経社

勝又一郎「加茂市内の県事業と幹線道路の整備構想 前章」『新潟県央新聞』1982(昭和57)年7月30日

勝村茂(1970)「政策決定過程と議会・政党」『都市問題』第61巻5号pp.14-29、東京市政調査会

神長勲(1993)「福祉行政における裁量と手続き」『季刊・社会保障研究』第29巻3号、pp.245-253、国立

社会保障・人口問題研究所

- 柏崎港期成同盟会事務局(1966)『柏崎港改修運動九十年の歩み さしあたり昭和 40 年まで 80 年の歩み』
- 柏崎商工会議所 50 年史編集委員会編(1990)『柏崎商工会議所五十年史：柏崎産業経済の歩み』、柏崎市商工会議所
- 柏崎商工会議所編(1984)『原子力発電所建設推進活動の経過概要』、柏崎商工会議所
- 柏崎商工会議所編(1985)『小林治助市長胸像建立記念誌』 p.20、柏崎商工会議所
- 柏崎体育団編(1988)『体育人今井哲夫』 柏崎体育団
- 金井多喜男、稲葉秀三(1968)『繊維産業の現況と繊維政策』 総合政策研究会
- 金井利之(1994)「地方自治制度」西尾勝、村松岐夫編『講座行政学』 pp.121-158、東京大学出版会
- 金井利之(2007)『自治制度』 pp.126-129、東京大学出版会
- 金井利之(2011)「二元代表制を問う-名古屋・阿久根市に探る」『地方議会人』 第 41 巻 12 号、pp.12-16
- 兼古耕一『三条における工業の現状と課題』、長岡大学地域研究センター第 37 回研究会報告、2003 年 2 月 4 日
- 株式会社リケン社史編集委員会(2000)『株式会社リケン 50 年史』、株式会社リケン
- 加茂暁星学園(1980)『暁鐘 加茂暁星学園六十年史』
- 加茂商工会議所「加茂商工会議所役員名簿」(<http://www.kamocci.or.jp/gaiyo/yakuin.html>) 2012 年 11 月 30 日アクセス)
- 加茂商工会議所編(2000)『50 年のあゆみ 加茂商工会議所 50 周年記念誌』、加茂市商工会議所
- 加茂利男、加藤幸雄、榊原秀訓、柏原誠、白藤博之(2011)『地方議会再生 名古屋・大阪・阿久根から』自治体研究社
- 荻田道夫(1982)『加茂のタテグ〜その沿革をたずねて』
- 河中二講(1967)「「地域政策」と地方行政」『年報政治学(1967)』 pp.105-131 岩波書店
- 河中二講(1993)「自治の思考の転換」日本地方自治学会編『地域開発と地方自治』 pp.3-32、敬文堂
- 河村望・高橋和宏・平岡義和・迫田耕作・大西康雄(1986)「地域権力構造論の再構築—静岡県 S 市の実証研究をつうじて—」『人文学報』 第 186 号、pp.1-78、東京都立大学人文学部
- 岸昌(1961)『地方自治の探求』学陽書房
- 北原鉄也(1989)『地方自治体におけるアクターの意識・行動にみる地方自治の現状』『都市問題』 第 80 巻 第 9 号、pp.27-45、東京市政調査会
- 北原鉄也(1995)「統一地方選挙にみる地方保守王国と政界再編—地方政治の類型にもとづいて—」『都市問題』 第 86 巻 7 号 pp.39-55、東京市政調査会
- 喜多見富太郎(2010)『地方自治護送船団 自治体経営規律の構造と改革』 慈学社
- 橘川武郎(2004)『日本電力業発展のダイナミズム』、名古屋大学出版会
- 黒田展之(1984)(編)『現代日本の地方政治家-地方議員の背景と行動-』 法律文化社
- ケント・カルダー(1989)『自民党長期政権の研究』 文芸春秋
- 小池清彦(2002)「国を亡ぼし、地方を亡ぼす 市町村合併に反対する。加茂市が県央東部合併に加わらない理由」『広報かも別冊』 2002(平成 14)年 12 月 10 日号
- 小林治助(1973)「地域社会から見た原子力発電」『第六回原産年次大会現行集』、日本原子力産業会議
- 小林進(1982)「いくつかの追憶」『弁護士渡辺喜八：その生涯と回想』 pp.127-129

- 小林正弥(2000)『政治的恩顧主義クライエンテリズム論——日本政治研究序説』東京大学出版会
- 古城利明(1973)『地方政治の社会学』東京大学出版会
- 合田昭二(1994)「戦前期日本織物業の産地組合組織」『経済学研究』43(4),pp.93-108. 北海道大学
- 佐々田博教(2011)『制度発展と政策アイディア』木鐸社
- 斉藤憲(1987)『新興コンツェルン理研の研究』太平社
- 斉藤憲(2009)『大河内正敏：科学・技術に生涯をかけた男』日本評論社
- 斉藤淳(2010)『自民党長期政権の政治経済学-利益誘導政治の自己矛盾』勁草書房
- 佐々田博教(2011)『制度発展と政策アイディア』木鐸社
- 佐藤廣作(1992)「戦後市政の回顧③」『刈谷田新報』1992(平成4)年4月17日
- 佐藤竺(1963)「地方政治におけるイシューとしての「地域開発」」『年報政治学』pp.145-156、岩波書店
- 佐藤竺(1965)『現代日本の地方政治』日本評論社
- 佐藤竺(1980)「政策決定過程の研究」『地域開発』通巻195号、pp.29-36
- 佐藤俊一(1989)「戦後日本政治分析における多元主義理論と中央地方関係-村松岐夫のモデルを素材に-」
日本地方政治学会編『日本地方自治の回顧と展望』敬文堂
- 佐藤松太郎(1968)『枳尾と織物』
- 佐藤満(2012)「事例研究と政策科学」『政策科学』第19巻3号、pp.331-350、立命館大学政策科学学会
- 佐藤玲一(1968)「政党支部の自主性-市政における政党の中央・地方の関係-」『都市問題』第59巻9号
pp.37-49,東京市政調査会
- 嶋崎隆(1983)「大島論文における「三条人氣質」と経済発展の弁証法」一橋大学社会学部『地域社会の発展に関する比較研究-新潟県三条市を中心として-』pp.7-21
- 島野武(1982)「五十年の付き合い」『弁護士渡辺喜八：その生涯と回想』pp.57-58)
- 霜田毅(1984)「洲崎市政を顧みて」洲崎義郎回想録刊行会『洲崎義郎回顧録 進歩と平和への希求』pp.217-225p、
- 篠原一(1988)「歴史政治学とS・ロッキン」犬童一男、山口定、馬場康雄、高橋進編『戦後デモクラシーの成立』pp.288-342、岩波書店
- 白戸伸一(2009)「産地織物業に対する構造改革事業の歴史的役割」『明治大学国際日本学研究』第二巻1号、pp.1-25
- 新川敏光(2005)『日本型福祉レジームの発展と変容』ミネルヴァ書房
- 新藤宗幸(1979)「都市政治と行政官僚制」『都市問題』第70巻1号pp.54-64,東京市政調査会
- 新藤宗幸・阿部齊(2006)『概説日本の地方自治(第二版)』、東京大学出版会
- 深谷宗吉(1949)「三條市の下水道計画について」『水道雑誌』第178号p19
- 自治労新潟県本部・柏崎市職員労働組合(1977)「柏崎原発阻止闘争における住民運動の経過と原状」『月刊社会党』通号253、pp.117-122
- 杉田敦(2003)「"彼ら"とは違う"私たち"-統一地方選の民意を考える」『世界』2003年6月号、pp.20-24、岩波書店
- 鈴木倉一郎(1978)『テキスタイルと私』
- 鈴木平三郎(1973)「全国初の下水道百パーセント達成の「三鷹市」--受益者負担が大きな推進力」『都市開発』第121号pp.57-60、都市開発研究会

- 鈴木芳行(2001)「織物消費税納税システムの構築と交付金制度」『税務大学校論叢』第 37 卷, pp.159-190, 税務大学校
- 砂原庸介(2006)「地方政府の政策決定における政治的要因—制度的観点からの分析」『財政研究』2 巻 pp.161-178
- 砂原庸介(2006)「地方政府の政策選択—現状維持点(Status Quo)からの変化に注目して」『年報行政研究』41 号 pp.154-172
- 砂原庸介(2011)『地方政府の民主主義-財政資源の制約と地方政府の政策選択』有斐閣
- 洲崎義郎(1984)「自伝記録 私の生い立ち」洲崎義郎回想録刊行会『進歩と平和への希求』
- 曾我謙悟、待鳥聡史(2007)『日本の地方政治』名古屋大学出版会
- 柚正夫(1967)「地方政党の構造と機能」『年報政治学』pp.132-158
- 高木健二(2008)『地域間格差と地方交付税』、公人社
- 高橋和弘(1985)「地域権力構造論の再構築に向けて」『人文学報』第 177 号、pp.41-62, 東京都立大学人文学部
- 高橋和弘(1985)「地域権力構造論の再構築に向けて」『人文学報』第 177 号 pp.41-62, 東京都立大学人文学部、河村望・高橋和宏・平岡義和・迫田耕作・大西康雄(1986)「地域権力構造論の再構築—静岡県 S 市の実証研究をつうじて—」『人文学報(東京都立大学)』第 186 号、pp.1-78 等がある。
- 高橋清二郎「織労会館を偲んで⑤」『栃尾タイムス』1993(平成 5 年 5 月 25 日)
- 高島通敏(1997)『地方の王国』岩波書店
- 高寄昇三(1981)『地方政治の保守と革新』勁草書房
- 高寄昇三(1992-1993)『宮崎神戸市政の研究』全 4 巻、勁草書房
- 田中角栄(1976)『私の履歴書』日本経済新聞社
- 田邊榮作(1998)『泥田の中から 田邊榮作回顧録』
- 地方自治研究資料センター編著(1979)『自治体における政策形成の政治行政力学』
- チヨダシューズ株式会社(2006)『2006-03-31 期 有価証券報告書』
- 月橋会(1984)「思い出の中の洲崎義郎市長」洲崎義郎回想録刊行会『洲崎義郎回顧録 進歩と平和への希求』pp.186-216
- 辻清明(1969)『新版日本官僚制の研究』、東京大学出版会
- 辻山幸宣(1994)「政界再編と首長選挙-相乗り「総与党化」現象と市民-」『都市問題』第 86 巻 第 7 号 pp.27-38、東京市政調査会
- 電気協会東北支部編(1927)『新潟県並東北六県送電幹線概要 昭和 2 年 3 月現在』電気協会東北支部
- 電力政策研究会(1965)『電気事業法制史』、電力新報社
- 東京大学社会科学研究所編(1978,1980)『戦後初期労働争議調査資料：東芝争議(1949)調査資料 一巻、二巻』、東京大学社会科学研究所
- 東芝電気器具株式会社 25 年社史編纂グループ(1975)『わが社 25 年のあゆみ』
- 東芝電気器具株式会社社史編纂グループ編(1975)『わが社 25 年のあゆみ』p.3、東芝電気器具株式会社
- 東北電力編(1974)『東北事業電気事業史』東北電力
- 土田邦彦(1990)『新潟県織物史』、野島出版
- 土岐寛(1983)「首長像の変容と都市政治」『都市問題』第 74 巻 第 4 号 pp.59-71、東京市政調査会

- 徳本正彦(1982)「首長選挙と都市政治」『都市問題』第73巻6号 pp.28-38、東京市政調査会
- 十亀昭雄(1982)「都市における政策決定過程と首長」『都市問題』第73巻6号 pp.3-15、東京市政調査会
- 栃尾織物工業協同組合(1962)『栃尾織物工業協同組合創立60周年記念誌』
- 栃尾織物工業組合編(1961)『栃尾織物組合60年のあゆみ』栃尾織物工業協同組合
- 戸川猪佐武(1972)『田中角栄伝』鶴書房
- 外川伸一(2008)「ローカル・ガバナンス分析のための理論的基礎」『山梨学院大学法学論集』第60号、pp.1-49、山梨学院大学
- 長野茂(1995)『柏崎刈羽原子力発電所誕生百話』フジショウ
- 中澤秀雄(1999)「日本都市政治における「レジーム」分析のために：地域権力構造(C P S)研究からの示唆」『年報社会学論集』12、pp.108-118
- 中澤秀雄(2005)「住民投票運動とローカルレジーム」ハーベスト社
- 中村紀一(1974)「地域開発と地方自治体」伊藤善市、佐藤竺、恒松制治、成田頼明、松原治郎『あすの自治をさぐるⅢ』学陽書房
- 中村菊男(1968)「市政における政党のあり方」『都市問題』第59巻9号、pp.3-13、東京市政調査会
- 中村八朗(1961)「都市の権力構造—アメリカにおける研究の動向—」『社会科学ジャーナル』2巻、183-239p、国際基督教大学
- 中村八朗(1962)「コミュニティ・パワーの研究をめぐる諸問題」『社会科学ジャーナル』4巻、pp.43-85、国際基督教大学
- 中村八朗(1979)「地域権力構造と住民自治に関連して」『都市問題』第70巻第1号 pp.14-29、東京市政調査会
- 中山洋平(2008)「中央からの財政資源配分と地方政治構造の変容」河田潤一編『汚職・腐敗・クライエントリズムの政治学』ミネルヴァ書房
- 永山武夫(1958)「地域別個人加入労組のこと」『早稲田商学』134号、pp.103-114、早稲田商学同攻会
- 名取良太(2003)「補助金改革と地方の政治過程」『レヴァイアサン』第33巻 pp.70-110
- 鳴海正泰(1979)「地方自治体と中央政府-戦後・自治論の再検討-」『都市問題』第70巻1号 pp.30-42、東京市政調査会
- 新川達郎(2002)「NPM型行政改革に関する一考察：「新しい行政管理(NPM)の理論」と日本の行政改革における現実」『同志社法学』第54巻4号、pp.1519-1566
- 新潟県女性史クラブ(1983)『雪華の刻をきざむ：新潟近代の女たち』ユック舎)
- 新潟県立加茂農林高等学校創立70周年記念事業実行委員会編(1973)『青海七十年：創立七十年記念誌』
- 新潟鉄工所社史編纂委員会編(1996)『新潟鉄工所100年史』新潟鉄工所
- 新潟日報社特別取材班(2009)『原発と地震』新潟日報事業社
- 新潟日報社編(1978)『民選知事五代-県政支配の構図』下巻、新潟日報事業社
- 新潟日報社編(1983)『角栄の風土』、新潟日報事業社
- 新潟日報社編(2004)『ザ・越山会』 pp.212-213、新潟日報事業社
- 新潟日報社編(2007)『原発と地震』新潟日報事業社
- 西尾孝明(1968)「市民団体と政党」『都市問題』第59巻9号 pp.14-23、東京市政調査会
- 西野寿章(2008)「戦前における電気利用組合の地域的展開(1)」『産業研究(高崎経済大学附属研究所紀要)』

第 44 卷第 1 号、pp.63-74p

- 西尾勝(1990)『行政学の基礎概念』東京大学出版会
- 西巻達一郎(1976)「松村家のことー松村文治郎を主にしてー」『柏崎刈羽』第 3 号、pp.3-25
- 日本石油株式会社・日本石油精製株式会社社史編さん室編(1988)『日本石油百年史』日本石油
- 日本石油株式会社調査課編(1914)『日本石油史』日本石油
- 日本電気事業史編纂会(1941)『日本電気事業史』、電気之友社
- 日本都市センター編(1981)『都市における政策形成のあり方』
- 間登志夫(1989)「自治体における政治家と行政官の関係」『都市問題』第 80 卷 第 9 号、pp.59-72,東京市
政調査会
- 原沢久夫(1977)『加茂農林とその伝統』川口書店
- 原田綱(1989)「政治権力の実態 仮面をつける政治」御茶ノ水書房
- 原田晃樹・金井利之(2010)「看取り責任の自治(上)-滋賀県余呉町の居住移転策を中心に-」『自治総研』通
関 378 号、pp.1-41
- 早川進(2006)「地方行政改革における定員管理」『調査と情報』第 532 号、pp.1-10、国立国会図書館調査
及び立法考査局
- 林欣治(2008)『栃尾の落日』、新潟日報事業社
- 一橋大学社会学部(1983)『地域社会の発展に関する比較研究-新潟県三条市を中心として-』
- 氷見野良三(1990)『三條の印象』三条税務署
- 平井一臣(2011)『首長の暴走：あくねの政治学』法律文化社
- 平野孝(2008)『都市の内乱 西宮 1960-1963』日本評論社
- 平野孝(2008)『都市の内乱 西宮 1960-1963』日本評論社
- 広井重次編著(1934)『山口権三郎翁伝記』北越新報社
- 芳川広一(1972)「新潟「原発」反対の戦い」『月刊社会党』通号 180 卷、社会党
- 深澤映司(2007)『地方自治体の中小企業向け融資制度が直面している課題』『レファレンス』平成 19 年 2
月号、pp.77-95、国立国会図書館
- 福武直編(1965)『地域開発の構想と現実』東京大学出版会
- 福武直(1982)『日本社会の構造』東京大学出版会
- 藤草弘蔵「クタバレ自民党栃尾支部-市長選挙レポート(1)-」『栃尾新聞』1971(昭和 46)年 1 月 6 日
- 藤田武夫(1947)『日本地方自治論』pp.47-70、霞ヶ関書房
- 北越製紙百年史編纂員会編(2007)『北越製紙百年史』p.65、北越製紙株式会社
- 北越メタル株式会社(1983)『北越メタル四十年史』p.18、北越メタル株式会社
- 星野光男(1958)『日本の地方政治』東洋経済新報社
- 堀家善郎(1954)「地方財政平衡交付金制度の改革(2)」『自治研究』第 30 卷 1 号、pp.127-140、良書普及会
- 前田幸男(1995)「連合政権構想と知事選挙-革新自治体から総与党化へ-」『国家学会雑誌』第 108 卷 11/12
号 pp.1329-1390
- 松本和明(2000)「<論考>大正期の新潟県における産業発展と企業化グループ」『長岡短期大学地域研究：地
域研究センター年報』pp.61-90、長岡短期大学
- 松本和明(2003)「両大戦間期における新潟県の産業発展と企業家グループ(下)郡部の場合」『地域研究』第

三号,pp.89-103, 長岡大学地域研究センター

御厨貴(1995)「国土計画と開発政治-日本列島改造と高度成長の時代-」『年報政治学(1995)』pp.57-76, 岩波書店

御厨貴、東郷尚武、神野直彦、村松岐夫(1994-1995)『シリーズ東京を考える』全5巻,都市出版

光本伸江(2006)『自治と依存』敬文堂

箕輪允智(2009)「非開発指向の自治(上)加茂市政構造分析から見た「開発」と「分配」」『自治総研』第372号, 2009年10月号, pp.63-103

箕輪允智(2009)「非開発指向の自治(下) 加茂市政構造分析から見た「開発」と「分配」」『自治総研』第374号, 2009年12月号, pp.38-83

三宅一郎、村松岐夫(編)(1981)『京都市政治の動態』有斐閣

宮川嫩葉(1977)『柏崎ちぢみ行商史』柏崎教育委員会

宮本太郎(2008)『福祉政治』有斐閣

村上弘(1995)「相乗り型無所属首長の形成要因と意味」『年報行政研究(1995)』pp.14-35、ぎょうせい

村松岐夫(1975)「行政過程と政治参加」『政治参加の理論と現実』pp.41-68、日本政治学会

村松岐夫(1978)「政治家と行政官僚」『自治研究』第59巻9号 pp.3-26,良書普及会

村松岐夫(1981)「大都市の制度的環境と都市政治研究」『京都市政の動態』pp.4-16

村松岐夫(1985)「集権化の下における自治概念の再検討」『自治研究』第61巻1号 pp.22-37,良書普及会

村松岐夫(1988)「相互依存モデルと1980年代以降の地方自治」『自治研究』第61巻1号 pp.14-29,良書普及会、村松岐夫(1988)『地方自治』東京大学出版会

村松岐夫(1988)『地方自治』、東京大学出版会

門間董吉(1970)「政策決定過程と圧力団体」『都市問題』第61巻5号、pp.30-41p,東京市政調査会

門間董吉(1972)「革新自治体と地域開発」『現代財政学体系 3』pp.201-209、有斐閣

柳下勇(1970)「市政と協力団体-政治・社会学的視点から-」『都市問題』第61巻5号、pp.3-13、東京市政調査会

山内敏雄(1982)「首長と議会の政治過程-その政治機能にかかわって-」『都市問題』第73巻6号 pp.16-27、東京市政調査会

山岡栄一(1968)「市政の政党化と問題点」『都市問題』第59巻9号 pp.25-36,東京市政調査会

山岡淳一郎(2009)『田中角栄封じられた資源戦略』、草思社

山口聡(2009)「7 電力事業」国立国会図書館調査及び立法考査局編『経済分野における規制改革の影響と対策』pp.83-107

山口定(1983)「参院選挙が映し出した”生活保守主義”の構造」『朝日ジャーナル』、朝日新聞社

山口定(1986)「”生活保守主義”考」『書齋の窓』No.360.pp.2-7、有斐閣

山口二郎(2004)『戦後政治の崩壊』岩波書店

山崎俊雄(1956)「電気技術史」加茂儀一編『技術の歴史』、毎日新聞社

山崎正(2002)『東京都知事の研究』明石書店

山崎幹根(2006)『国土開発の時代 戦後北海道をめぐる自治と統治』東京大学出版

山田公平(1998)「地方自治改革の軌跡と課題」日本地方自治学会編『戦後地方自治の歩みと課題』pp.17-54、敬文堂

山田良平(1961)『西川弥平治伝』、故西川弥平治殿遺徳顕彰会
 山本英治(1970)「政策決定過程と住民運動」『都市問題』第 61 巻 5 号 pp.42-53、東京市政調査会
 山本英治(1973)「60 年代における地域権力構造の変容」『都市問題』64 巻 12 号 pp.3-15、東京市政調査会
 山本潔(1976~1980)「東芝争議(1949)年の研究」『社会科学研究』28 巻 1 号、2 号、6 号、29 巻 1 号、31 巻
 4 号、東京大学社会科学研究所
 山本清(1998)「地方自治体の行政改革戦略と政策評価(上・下)」『地方財務』530: pp.116-134
 山本隆・難波利光・森裕亮編著(2008)『ローカルガバナンスと現代行財政』ミネルヴァ書房
 横山桂次(1989)「地方議会と「革新自治体」」『都市問題』第 80 巻 第 7 号 pp.15-23、東京市政調査会
 吉田健二、三戸信人(1999)「証言 戦後日本の社会運動産別民同がめざしたもの—三戸信人氏に聞く(2)」
 『大原社会問題研究所雑誌』489 号 pp.53-69、大原社会問題研究所
 吉田昭一(1976)『評伝 柏崎市長小林治助-燃える男の軌跡-』
 吉田昭一(1986)『明日への飛翔：西川鉄工所八十年の歩み』西川鉄工所
 吉田昭一著、西川鉄工所社史編纂委員会編(1986)『西川鉄工所八十年の歩み』、西川鉄工所
 寄本勝美(1986)「四極構造による政治化-革新自治体のディレムマ」大森彌・佐藤誠三郎編『日本の地方政
 府』pp.181-208、東京大学出版会
 芳川広一(1974)昭和 49 年 5 月 22 日『衆議院議員大蔵委員会』発言
 理化学研究所史編集委員(2005)『理研精神八十八年』独立行政法人理化学研究所
 労働省(1969)『労働行政史』第二巻、労働法令協会
 蠟山政道(1952)『政治学原理』岩波書店
 蠟山政道(1936,1937)「地方制度の総合的性質(上)(中)(下)」『自治研究』第 12 巻 12 号 pp.1-10、第 13 巻 1
 号 pp.13-22、第 13 巻 2 号、pp.9-18
 渡辺純子(2009)『通産省の需給調整政策-繊維産業の事例-』京都大学大学院経済学研究科・経済学部
 Working Paper、J-69
 渡辺常世(1975)『私の履歴書』、野島出版

3.行政資料

総務省(1958~2000)『市町村別決算状況調』
 総務省(1960~2000)『国勢調査』
 総務省(2011)「地方自治法抜本改正についての考え方(平成 22 年)」平成 23 年 1 月 26 日付発表
 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000098612.pdf)2012
 総務省自治行政局(2011)「地方公共団体における行政改革の取組状況に関する調査結果」
 (http://www.soumu.go.jp/main_content/000150992.pdf、2012 年 11 月 20 日アクセス)
 加茂市(1961)『加茂市政だより号外』、加茂市
 加茂市(1972)『加茂市都市計画公共下水道事業基本計画書』、加茂市
 加茂市(1985)『広報縮刷版』、加茂市
 加茂市『広報かも』1985(昭和 60)年 11 月
 加茂市史編纂委員会(1975)『加茂市史』上巻、加茂市
 加茂市史編纂委員会編(2008)『加茂市史』資料編 3 近現代、加茂市

加茂川工事事務所編(1974)『下条川ダム工事誌』加茂川工事事務所
加茂市選挙管理委員会ウェブサイト「選挙の記録」
(<http://www.city.kamo.niigata.jp/section/senkyo/data.htm>)2013年2月4日アクセス
経済産業省(通商産業省)(1960～2000)『工業統計調査』
三条史料調査会編(1956)『三條市史資料』三条市
三条市(1996)『新行政改革大綱』三条市
三条市(2007)『三条市総合計画』三条市
三条市史編纂委員会(1983)『三条市史』下巻、三条市
柏崎刈羽地域合併協議会編(2005)『柏崎・刈羽地域建設計画』、柏崎刈羽地域合併協議会
柏崎市史編さん委員会(1990)『柏崎市史』下巻、柏崎市
柏崎市選挙管理委員会(2012)『選挙の記録』柏崎市
自治庁編(1957)『地方自治の近代化』地方財務協会
自治省編(1967)『地方自治読本』
栃尾市史編纂委員会編(1980)『栃尾市史』下巻、栃尾市
栃尾市(1990)『第四次総合計画 基本構想』
栃尾市(2003)『第六次栃尾市総合計画 基本構想』
新潟県(2012)「五十嵐川流域の現在の河川整備について」信濃川下流(山地部)圏域流域協議会第一回協議
会資料、2012年3月23日開催
新潟県総務部地方課(1962)『新潟県市町村合併誌下巻』、新潟県
新潟県三条地域振興局(1979)『加茂川・下条川治水事業の計画概要』
新潟県三条土木事務所(1984)『加茂川改修の記録』
長岡市史編纂委員会編(1990)『長岡市史』下巻、長岡市
文部科学省(2006)「登校時の安全確保にかかる取り組み事例集」(平成18年1月)

4. ウェブサイト

阿部大爾(2004)「加茂を引張る「何か」を見つけない」『Echigo Journal news』2004年1月6日
(<http://www.palge.com/news/h16/touki/kamo20040106.htm>、2012年11月30日アクセス)
テクノ「新潟県白地図」(http://technocco.jp/n_map/0150niigata/niigata2_cm.png) (2012.1.7 アクセス)
三条商工会議所『正副会頭・専務・顧問・相談役・参与名簿』2012.9.10 アクセス(<http://www.sanjo-cci.or.jp/kaigisyo/yakuinmeibo27.html>)
スノーピーク(<http://www.snowpeak.co.jp/headquarters/>)2012.9.10 アクセス

5. 新聞、会報

越後ジャーナル社『越後ジャーナル』
越後経済新報社『越後経済新報』
越後タイムス社『越後タイムス』
柏崎日報社『柏崎日報』
加茂新聞社『加茂新聞』

刈谷田新報社『刈谷田新報』
三條新聞社『三條新聞』
新潟県央新聞社『新潟県央新聞』
新潟新聞社『新潟新聞』
新潟日報社『新潟日報』
中越民報社『中越民報』
長岡新聞社『長岡新聞』
栃尾タイムス社『栃尾タイムス』
栃尾繊維工業組合『栃尾化繊だより』
栃尾繊維従業員組合『栃尾繊維従業員組合報』
栃尾新聞社『栃尾新聞』
北越公論社『北越公論』
北越広報社『北越広報』

6.会議録

加茂町『加茂町会議録』
加茂市『加茂市議会会議録』
柏崎市『柏崎市議会会議録』
三条市『三条市議会会議録』
栃尾市『栃尾市議会会議録』
衆議院『衆議院会議録』
参議院『参議院会議録』

7.写真

米軍(1946)『USA-M949-5-7』。撮影高度 6796m、撮影縮尺 1 : 44000
米軍(1947)『USA-M633-123』。撮影高度 6706m、撮影縮尺 1 : 43885
米軍(1947)『USA-M640-172』。撮影高度 6706m、撮影縮尺 1 : 43971
米軍(1948)『USA-M1185-31』。撮影高度 6706m、撮影縮尺 1 : 43914
Google map(<https://maps.google.co.jp/>)2012.8.1 アクセス

8.その他

小池清彦 講演録(2006)「小泉政権下で進んだ地方切捨て」『日本の進路』地方議員版 地方議員交流会
特別号

2011年11月9日、東北電力問い合わせ回答